



防災教育から、自らの命を守ることを学ぶ

～ 自然災害から身を守るために ～

土砂災害の現状や土砂災害からの的確な避難行動をとるための正確な知識を普及するため、新庄河川事務所ではハザードマップや土砂災害警戒情報等を活用した実践的な防災教育に係わる支援に取り組んでいます。

今回は立谷沢川流域の出前講座として、大学の学識者及び庄内町教育委員会と連携し、庄内町立余目中学校の3年生を対象とした防災教育を行います。

今回の防災教育は、「命を守るために大切なこと」「日ごろからの心構え」を学ぶことを目的として、山形大学 村山良之教授^{※1}による講義や避難情報・避難判断に係るワークショップを行います。

※1: 防災教育にあたっては、月山及び立谷沢川等郷土と地形の成り立ちや防災等についての教育実践に精通した山形大学地域教育文化学部・大学院教育実践研究科の教授から協力をいただくものです。

記

- 実施内容：講義及びワークショップ（余目中学校東体育館）
- 開催日時：令和3年7月2日（金） 13:30～15:00
- 参加者等：庄内町立余目中学校 3学年（教員及び生徒 約150名）
※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じたうえで行います。

<発表記者会：鶴岡記者会、新庄新聞放送記者会>

問い合わせ先



国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所

〒996-0071 新庄市小田島町5-55 TEL 0233 (22) 0262

副所長（砂防） きむら 木村 あきら 晃（内線205）

調査課長 どもん 土門 ひろかず 弘和（内線351）



庄内町教育委員会

〒996-7781 東田川郡庄内町余目字町132-1 TEL 0234-43-0152

指導主事 とみやま 富山 ゆうじ 裕二